

者への影響の把握に努め、12月28日までで、平日の午後10時から午後6時まで（3506）7229。設置は7月26日から午前10時から午後6時まで（3506）7229。

「天皇と軍」独仏合作で

在仏の日本人監督 福岡市で30日上映

九州日仏学館は30日、キュメンタリー作家、渡辺監督の「日本、天皇と軍隊」の上映会を開催する。

赤、青、白の矢羽、水玉柄など約50種類の機械織り生地から選んで、8面に張り合わせる。紫色の柄もあるという。担当者の野上智子さん(47)は「思い思いの柄を選び、自分だけが完成するまでに約2週間かかる。

地場産くるめでは地元2(44)3700。

渡辺監督は、映像と歴史資料を使って、「戦争の放棄」をうたった日本国憲法第9条立法に至るまでの歴史的事実をたどりながら、中立的な立場から、憲法の内容と現実の間にある矛盾について問い直している。

映画は、映像と歴史資料

映画上映後、渡辺監督と菅英輝・西南女学院大文学部教授(日米安全保障、国際関係論)、南野森・九州大法学部准教授(憲法学)の3人が、「将来の日本のための国防政策とは？」をテーマに、平和主義や日米関係、自衛隊の問題などについて意見交換する。

映画上映は午後6時から、パナールディスカッションは同7時から、福岡市中央区大名2丁目の同館で。入場無料だが、事前の予約が必要。問い合わせは同館092(7)12)0904。



①原爆投下から2年3カ月後、広島に巡幸した昭和天皇②1946年11月3日、新憲法に裁可のサインをする昭和天皇(映画「日本、天皇と軍隊」から)